

MIE UNIVERSITY X

三重大学広報誌

三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

ホットNEWS

動く三重大学

【新設】環境・情報科学館（メープル館）

マンガで読もう！トークセッション

MU-1 GP

特集

動く

07

速報

文部科学省等支援プログラム

13

プロジェクト

マラリア原虫の薬剤耐性遺伝子同定法の確立と応用

15

気になるNEWS

17

スポット／クラブ・サークル

19

本の紹介

21

表彰

22

お知らせ

23

歴史街道シリーズ

26



vol. **28** 2012
SUMMER

ホット
NEWS

【新設】環境・情報科学館 （メープル館）



2階 グループ学習コーナー

Mie
Environmental &
Informational
Platform

学生の学びを
支援する機能

PCステーション



PCステーションには20台のパソコンが設置されています。また、無線LANも利用できるので、自分のパソコンを持ち込んで利用することもできます。

文字通り
かしこい
板だ！

スマートボード



スマートボードという電子黒板が19台設置されています。プロジェクターで映された画像にそのまま文字を書き込むことができ、書いた文字を含めてまるごと保存することもできます。

地域コミュニティ
との交流空間

大型ディスプレイ



展示スペース



展示ホール



1階には地域の方々にもご覧いただけるよう大型ディスプレイが設置されており、さまざまな画像や映像が流れています。この他にも、展示スペースや展示ホールにおいて環境や研究活動に関する情報を発信しています。

環境に配慮した
設計

壁面ボード



3階には可動式の壁があり、両面が床から天井までホワイトボードになっているので、広々と使うことができます。

広い！！

太陽光パネル



壁面緑化と屋上緑化



壁面や屋上を緑化することで、気温の低減などの熱環境改善効果や空気の浄化効果などが期待できます。

涼しい
ね！

就職支援コーナー



就職支援に関する情報を提供するコーナーもあります。

演習林間伐材再利用



Campus
Map

環境・情報科学館（メープル館）

附属図書館

場所は
図書館の
隣だよ



3月6日、新しくできた環境・情報科学館において、内田淳正学長、朴恵淑理事・副学長、武田美保社会連携特任教授の3名により「スポーツ」をテーマにトークセッションが行われました。

今日は武田美保先生と内田学長に来ていただきました。

まずは始めに内田学長から一言いただきたいと思います。

男性は男性ホルモンがたくさん出て、筋力アップというのはよく行われるんですが、女性ホルモンが少なく出るというところは脂肪を体につける傾向が女性にはあります。

まあ本来スポーツというのは、筋力とか体力勝負で行われることが多いんですね。

その中で私は、武田先生が一番いい選択をしているなと思うのは、シンクロナイズドスイミングというのは、女性有利のスポーツではないかなと思うんです。

この間まで7時間ちよつとというドーバー海峡横断の最速記録を20年近く持っていた人も女性でした。ですので、長距離の水泳とかシンクロっていうのは間違いなく女性に有利なスポーツなんです。



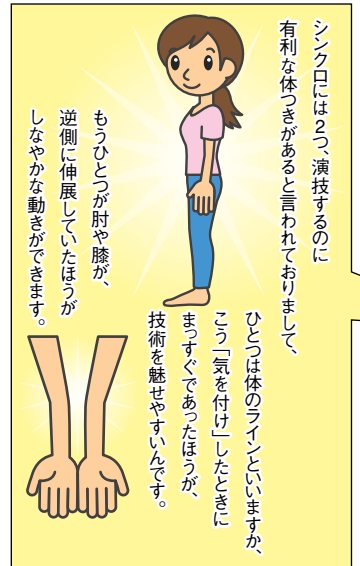
「スポーツと環境〜輝く女性の活躍〜」

さすが医学博士。それでは早速武田先生に、美しさとか力強さが揃わないといけないシンクロナイズドスイミングをどうして選んだのか、教えていただきたいと思えます。武田先生、いかがでしょう。

理由は本当に単純で、実家の目と鼻の先に大きなスイミングスクールがあって、体育の授業に困らないようにということで通い始めました。

はい。

そこでこれも本当に偶然なんですが、シンクロを指導してもらえるコースがそこに設けられておりました。全国的にも珍しいと思います。



わたしは体のラインがまっすぐだということで先生からのお話をいただきました。

おかげさまで、21年間、シンクロに携わることができました。

武田先生が生まれながら、シンクロに適した体つきを持つていたということですが、ここで医学博士にひとつ教えてもらいたいのは、膝が逆側に曲がるというのはよくあることなのですか？

はい。ありますよ。

肘がこつ「反張」するわけですね。反張するということは関節の可動域が普通の人よりも大きいわけですね。ですから武田先生の言われたように、動きがしなやかに見えるのでしょうか。



まあでも、そういった可動域の大きい関節を持つていたというのは、ダンスとか体操のようなしなやかな動きが必要とされるものの中では非常に重要な要素だと思います。

美しく歳をとるためにはシンクロナイズドスイミングをやっていたかなければなりません。

ここで、武田先生にお伺いしたいのは、オリンピックで5つのメダルを獲得した、その強さの秘訣とはなんですか？

女性の子孫を産み、育てあげるまで生きなくてはいけないということで、その自己防衛本能が男性よりも強く、余力を残すそうです。

そうですね。人間には自己防衛本能が働いて、自分はこの活動してしまつて命の危険に関わる。という限界値があるそうです。

「追い込めてない。わかってる。あなたまだ余力残してる。」そしてどんどん、どんどん限界以上に追い込みをかけるんです。

ですので先生の厳しい指導というものが強さにつながったんだと思います。

なるほど。

今日はスポーツと医学がベストミックスした素晴らしいお話をありがとうございました。



徳島県出身。2005年、三重大学医学部附属病院院長に就任し、2009年に現職である三重大学長に就任する。外科医時代の専門は骨軟部腫瘍、関節外科、生体材料。



京都府出身。元シンクロナイズドスイミング選手。オリンピックでデュエットおよびチームにおいて、計5つのメダルを獲得し、2004年のアテネオリンピックの年を最後に現役引退。2011年、三重大学社会連携特任教授に就任。



韓国ソウル出身。2000年より三重大学人文学部教授。2011年4月1日より三重大学の国際および環境の担当理事・副学長となり、日本の国立大学において初めての外国人副学長となった。専門は環境地理学。

＊考えてみよう＊

水泳には脂肪が大切？

たとえば…



これは、丸太の比重が10より小さく、石ころの比重が10より大きいからです。比重とは「大きさあたりの重さ」のことで、水は基準値の1.0で表されます。脂肪の比重は一般的に0.9とされています。



だから水泳には水に浮く脂肪が大切なのかな？

＊オリンピックでのシンクロ

シンクロナイズドスイミングの起源は、1900年頃ヨーロッパでショートの形で行われていた水中でのパレエからとされています。日本選手団は1984年のロサンゼルス大会から現在に至るまでの全ての大会でメダルを獲得しています。オリンピックでは現在、8人で演技を行うチーム競技と2人で演技を行うデュエット競技の2種目で実施されています。

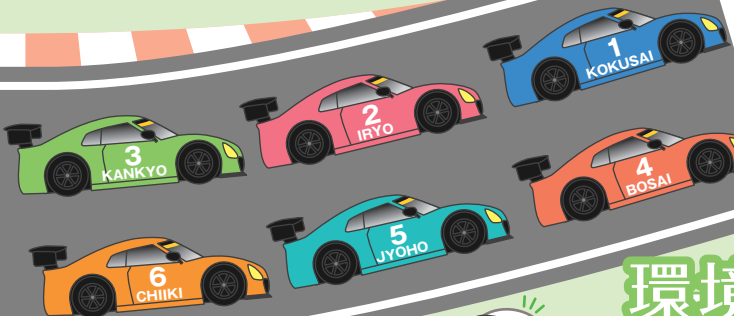
日本代表

オリンピックでの獲得メダル

1984	銅	ソロ	デュエット	ロサンゼルスオリンピック
1988	銅	ソロ	デュエット	ソウルオリンピック
1992	銅	ソロ	デュエット	バルセロナオリンピック
1996	銅	ソロ	デュエット	アトランタオリンピック
2000	銀	チーム	デュエット	シドニーオリンピック
2004	銀	チーム	デュエット	アテネオリンピック
2008	銅	デュエット		北京オリンピック

MU-1GP

三重大は近年、スピード感あふれる「動き」を見せました。



環境

Team. KANKYO

三重大はスマートキャンパス構想や環境・情報科学館の開設にともない、より一層世界一の環境先進大学に近づきました。今後も世界一となるべく、様々な取組を行います。

防災

Team. BOSAI

東日本大震災を受け、三重大は防災の取組を強化しました。平成23年12月には地震による津波を想定し、地域の人々を含め学外へ避難するという大規模な防災訓練が行われました。

情報発信

Team. JYOHO

ホームページリニューアルをはじめ、三重大のアンテナショップやテレビ番組などがスタートしました。今後も地域の人々に三重大をより多く知ってもらうため、最新の情報をお届けします。

地域連携

Team. CHIIKI

平成23年4月に三重大地域戦略センターが設置され、三重大は地域とより一層つながりがもてるようになりました。「地域に根ざす大学」となれるよう今後も様々な取組を行なっていきます。

平成23年度



ホームページリニューアル

地域戦略センター設置

みえ“食発”イノベーション創造拠点開所式

芝桜で環境美化

さきもり塾入塾式

国際

Team. KOKUSAI

平成23年度は留学生カフェや工学研究科国際シンポジウムなど、新しいイベントが始まった年となりました。三重の力を世界へ。このスローガンを地域の方々により身近に感じてもらえるよう努力します。

医療

Team. IRYO

平成24年1月に附属病院新病棟・診療棟が開院し、さらなる三重県における医療の要としての高度で安全な医療を遂行するとともに、患者さんやご家族の方が少しでもゆったりと安心して治療に専念していただけるよう努力します。

平成24年度



三重大のテレビ番組がスタート



環境・情報科学館オープン



ドクターヘリ事後検証会



地震・津波防災訓練でのTV会議



新病棟・診療棟で院内防災訓練



三重大環境報告書2011が環境報告書受賞



キャンパスキューブに鈴木英敬三重県知事出演



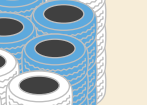
事務局玄関に広報スペース設置



医学部附属病院新病棟・診療棟開院



旧病棟から新病棟へ患者さん移送



学術部附属病院新病棟・診療棟開院



留学生カフェ

附属病院新病棟開院式典

第1回工学研究科国際シンポジウム

三重大教職員・学生防災研修

総合防災訓練

旧病棟から新病棟へ患者さん移送

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院

学術部附属病院新病棟・診療棟開院



三重大学大学院工学研究科機械工学専攻・教授
矢野 賢一 Yano, Kenichi
[URL] <http://www.robot.mach.mie-u.ac.jp/>

前列右から2人目が矢野教授

超高齢化社会を乗り切る技術

超高齢化社会を目前として、医療・福祉の現場では人手不足が問題となってきています。また健康長寿社会や自立度の高い社会を実現するために、現在パワーアシストロボットをはじめとする様々なタイプの医療・福祉ロボットの開発が急ピッチで行われています。

本研究室では、人間と機械の共生を実現するロボット制御技術を開発し、社会に貢献できる知能ロボットを創出することを目指しています。特に、生命・医療・福祉の分野における「動く」ことを支援するロボットの開発に力を入れ、これからの超高齢化社会を乗り切るための研究を行っています。

情報コミュニケーション

- ハプティックデバイス
- ナビゲーションシステム
- バーチャルリアリティ
- 操作支援システム
- CFDシミュレーション

社会支援 生命・医療・福祉

- 自立支援ロボット
- 上肢支援ロボット
- リハビリシステム
- 創薬・バイオ
- 手術支援ロボット

人間・機械共生を目指す社会支援システムの創出

- 知能機械システム
- 人間支援システム
- 機能高度化システム

- ロバスト制御
- ハイブリッド制御
- CFD形状最適化
- 最適化、知能化
- 振動制御、運動制御

制御工学・システム工学

ロボティクス・メカトロニクス

- 遠隔制御システム
- 極細加工支援装置
- 高速搬送システム
- 鋳造プロセスの制御
- 流体挙動制御

支援ロボットでQOL^{*}を高める

本研究室では、残存機能の動きに制約をかけずに機能不全の動作のみを支援することが可能な装着型の支援ロボット「アクティブギプス」を開発しています。車いす操作や移乗動作を対象として、機能障害が存在する動作に対するアシスト量を適切に算出することで、残存機能の低下を招かず、かつ日常生活に必要な動作の支援を可能とします。さらに、高齢者やスポーツ障害を対象に下肢支援ロボットも開発しています。

また、身体障がいを持つ方の中には、自己表現の手段や生きがいとして絵画などに取り組んでいる方が多くおられます。しかしながら、手先に障害（手の震えなど）を持ち、緻密な作業をこなすことができない方もおり、そのような方々を対象として、絵を描いたり、食事をしたり、字を書いたり、ギターを弾いたりなどの動作を支援し、病院や施設のみでのリハビリから自ら楽しみ体を動かせるリハビリの実現を目指しています。

※QOL：Quality of Life（quality of life）…ひとりの人生の質や、生活の質

QOL支援

趣味の支援①



ギター演奏支援自動具「響楽」

趣味の支援②



描画支援ロボット

食事の支援



食事支援ロボット「MARo」

いろんな分野でロボットの力が必要とされているんだね



流れをあやつる技術を医療分野へ展開

液体を揺らさないように動かすロボットの開発や、新薬開発に必要な攪拌作業で効果的な搬送・攪拌・充填することのできる制御システムを実現しました。

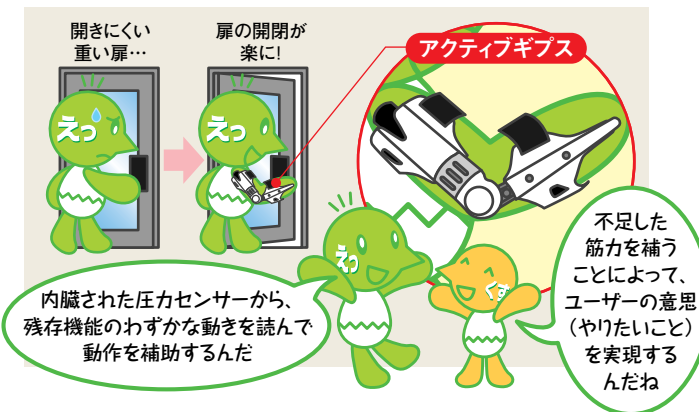
ようどうかくはん 揺動攪拌ロボット



アクティブギプス



上肢動作支援ロボット（アクティブギプス）による車いす操作支援



元気に生きがいを持った社会、そして新産業の創出を

現在、健康長寿社会の実現は重要な国家プロジェクトとなっています。今後は、研究室独自の技術であるロボット制御技術や最適制御技術を実用化し、超高齢化社会においても、元気に生きがいを持って自立した生活のできる社会の実現を目指します。さらには、開発した技術を生命・医療の分野やものづくりの基盤技術である製品の最適設計などの分野へ展開し、新産業の創出を目指していきます。

このような経験を
したことはありませんか？
もしこのような症状が出たら、
股関節疾患の疑いがあるかもしれません。

- 関節が痛む
- 片方の足が短くなってきた
- 足が上がらない
- 足の爪が切れない
- くつ下が履けない

こんなサインが
あらわれたら…
受診のタイミングです！



手術室にて



変形性股関節症

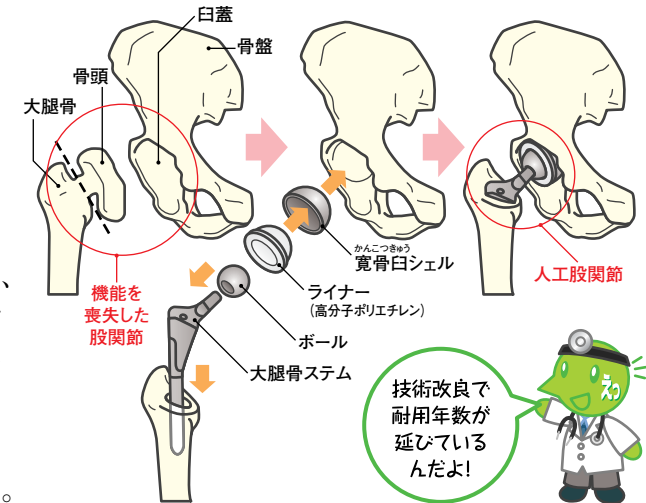
股関節は、上半身と下半身をつなぐ人間の関節で最も重要な役割をしています。「変形性股関節症」は、股関節の軟骨が擦り減って変形し、痛みが生じる疾患で、男性よりも女性に多い傾向にあります。

我々は痛みで悩まない快適生活のために変形性股関節症や軟骨損傷の病因病態や治療に関する研究を行い、今後の人工股関節の発展・開発に日々励んでいます。

技術改良で大きく進歩した人工股関節置換術

この技術は、失われた股関節の機能を取り戻すために、金属、セラミック、高分子生体材料を用いて形成した人工股関節を、患者さんの股関節に置き換える治療方法です。

人工股関節で特に重要となるのは動く部分で、骨盤側の「臼蓋」と、大腿骨先端の「骨頭」に代わる部分から成り立っています。現在の人工股関節は、一般的に耐用年数は約20年と言われています。この治療のメリットは痛みがなくなること、痛みがなくなれば当然歩行姿勢もよくなります。また、多くの場合は、関節が動きやすくなります。一方、発生率は高くないものの、感染による合併症や深部静脈血栓症が起こったり、可動部分が外れて脱臼したり、緩んでくる可能性もあります。そのため、術後の経過観察は非常に大切です。

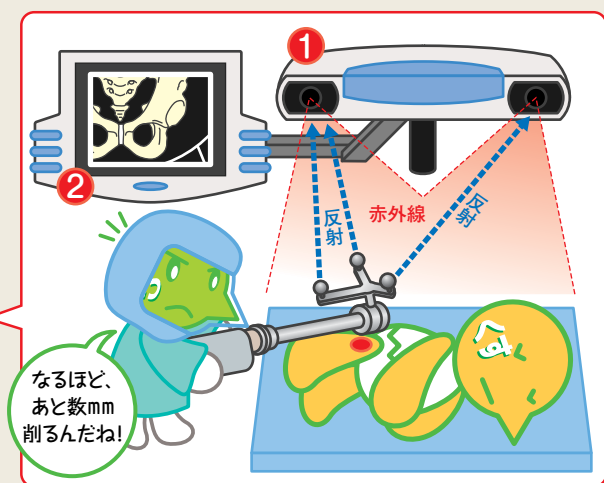


さらにここも進歩 ① 先進システムの導入 ナビゲーションシステム

これまで『経験と勘』で行われていた手術を、患者さんひとりひとりの骨形態に合わせてより正確に設置することが可能になりました。ナビゲーションを導入して人工関節置換術を行っている病院は日本では未だ少ないといわれています。

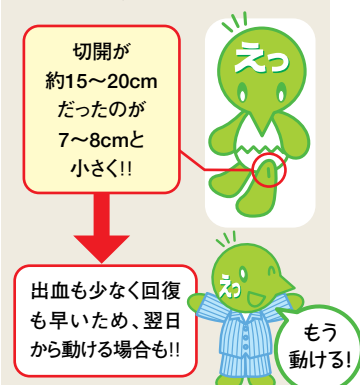


② ① 発生された赤外線がボールが反射し、それをキャッチしたカメラから画面へ情報が送られます。 ② あらかじめ読み込まれた患者さんの骨盤モデルを基に、①の情報と比較し、削る角度や深さをナビゲーションします。



さらにここも進歩 ② 手術方法 MIS-THA (低侵襲人工股関節置換術)

この手術方法により、体への負担が少ない手術が可能になりました。



さらなる技術進歩による耐久性の延びに期待

技術の進歩により、現在、骨と金属の固定性は概ね満足できるものになってきました。これからの課題はやはり人工股関節の可動部分「臼蓋」と「骨頭」に代わる部分の一層の改善です。これが、より磨耗が少なく、安全かつ高機能なものになっていけば、耐用年数は現在の20年から30年～40年へと延びていきます。そして、いつかは一生使えるものになっていくことに期待が持たれています。



整形外科の医療チーム



三重大学大学院生物資源学研究科
附属教育研究施設 附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター
附属施設演習林(平倉演習林)次長・准教授
沼本 晋也 Numamoto, Shinya
[URL] <http://hirakura.bio.mie-u.ac.jp/>

東俣谷の溪流に滝をつくる岩盤地帯で

切っても切れない森との関係

国土の約7割が森に覆われた日本では、森は生活の場であり、また畏敬の対象でもあり、古来より日本人は森にささえられて生活してきました。しかし、エネルギー資源の変遷や経済・社会状況の変化から手入れ不足の森が増え、劣化や荒廃を心配する声もあります。一方で、近年の大きな土砂災害は、一見豊かな森に覆われた山地斜面や河川で起こっていることが多く、極端気象も珍しくない今、まさに森を見つめるべき時代かもしれません。

三重大学附属施設演習林では、雲出川※の最上流地帯を構成する東西約4km南北約1.5kmの森です。日々研究者や学者が調査・実習を行っています。



演習林の歴史

1925年 2月	三重高等農林学校に附属演習林を設置。
1944年 4月	三重農林専門学校附属演習林と改称。
1949年 5月	国立学校設置法の公布により、三重大学農学部附属演習林と改称。
1987年10月	農学部、水産学部の統合改組により、生物資源学部附属演習林と改称。



台風21号(2004年)の豪雨による宮川上流大杉谷での岩盤崩落



演習林でのモニタリング調査+災害調査

森林水文学



ぬたの谷量水堰堤での水文観測
(1987年から継続・森林環境砂防学)

治山砂防学



岩検ハンマーでもろさを調査

治山砂防学



豪雨による崩壊土砂の動きを調査

普段の森を知る

自然災害が発生する過程を考えるには、普段からのモニタリングが重要です。森には様々な顔があり季節変化や成長・衰退のなかで持続しています。さらに、日々の雨量・湧水・溪流の流量や、落葉落枝や土壌状態、霜柱など、樹木群だけでなく、森林環境を形づくる様々な要素を常に観察して季節変化も含めた一般的な姿を知っておくこと、つまり、「普段の森の姿＝動きかた」を知ってこそ異変だと気づくことができるのです。また、ゆるやかな土砂や地盤の動きの変化を捉えることで、長期的な災害発生の可能性や安定性について予測・評価できるようになります。

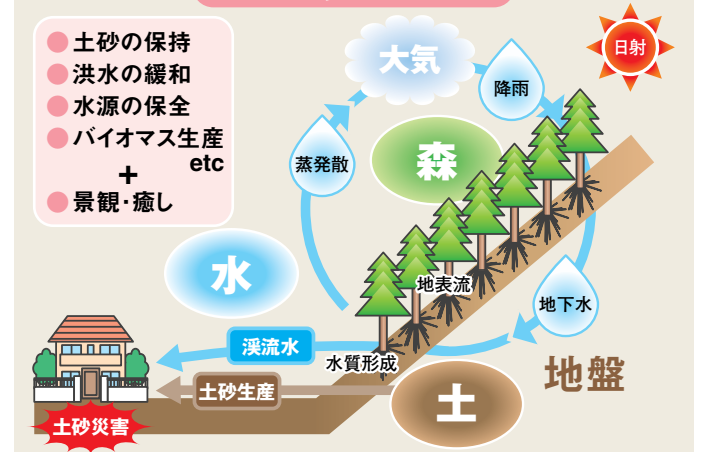


【沼本先生の調査基本セット!】

森の変化に気づくこと

長期的な視点で見ると、日本列島という脆弱で変化しやすい地盤の上に生活する私達にとって災害は常に身近に存在するものであり、いつ大きな災害に見舞われるかわかりません。災害は、日本列島を覆っている山や森で発生しているのです。多くの人は被災地を見て、自分たちの生活域にある河川の改修などを期待しますが、様々な機能を持つ森林の変化を、生活者はもちろん様々な立場の人が見るのが重要なことです。山や森が教えてくれることに気づく・気づけることが大切です。

森林の多面的機能



文部科学省等支援プログラム

文部科学省 特別経費

平成24～27年度

〔プロジェクト分〕

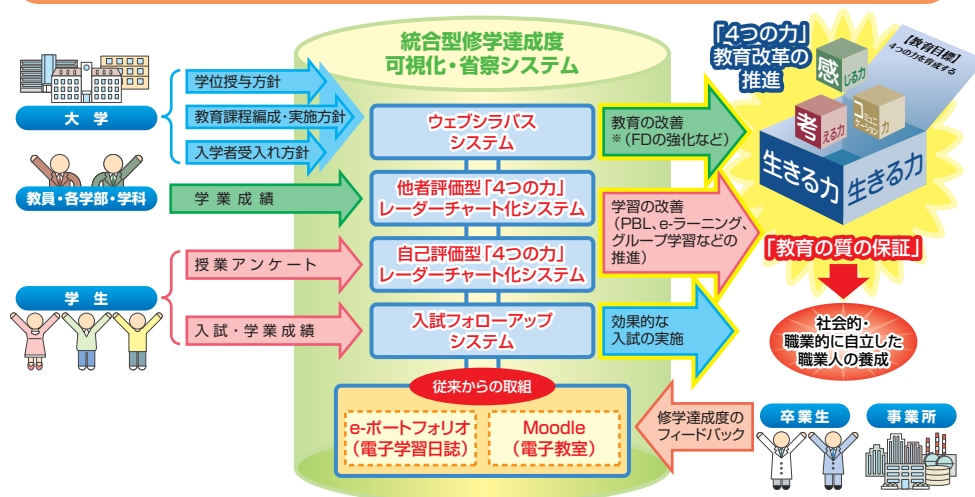
「全学統合型修学達成度可視化・省察システムを核とした『4つの力』教育改革」

—教育の質保証を支える教育システムの構築—

大学は、一貫した学士課程教育を行うことによって、大学卒業後も自立した社会人・職業人として、学び・成長し続けることのできる「学士力」や「社会人基礎力」を涵養することを社会から求められています。三重大が教育目標としている「4つの力」（感じる力・考える力・コミュニケーション力・生きる力）を養成する教育はこの要請に応えようとするものです。

このプロジェクトでは、ウェブシラバス、学業成績、授業改善アンケート、e-ポートフォリオ（学習履歴や学習成績の蓄積）など、教育に関するシステムを開発・統合して、学生や教員が修学達成度を把握し、その結果を学習計画や授業改善に生かしたり、教学に関する教職員の研修の拡充や入試の改善などに役立てたりできるシステムを開発します。これによって学士課程教育をより体系的なものとし、三重大が掲げる「4つの力」の教育の充実を図ります。

◎ プロジェクトの概要 ◎



平成23～26年度

〔教育関係共同実施分〕

「勢水丸による教育関係共同利用拠点体制強化事業」

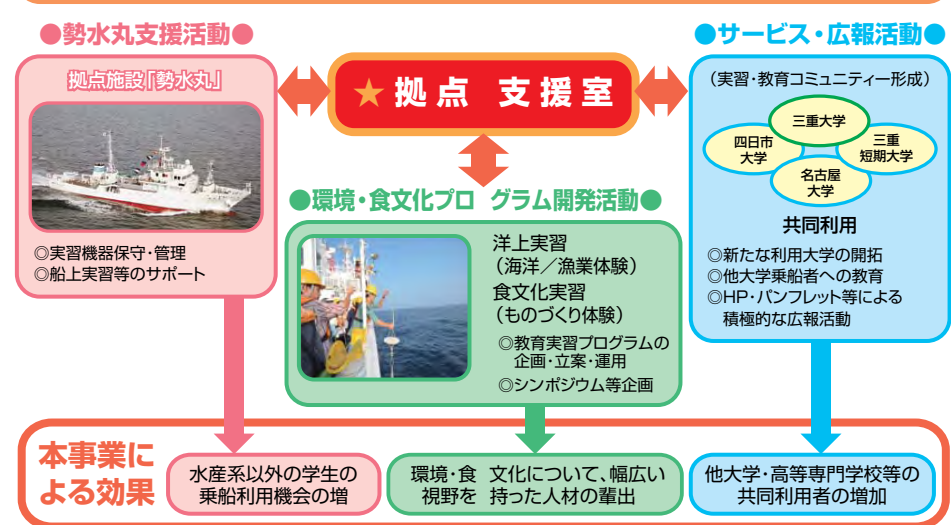
環境・食文化教育、エコツーリズム、実習・教育コミュニティ、共同利用促進

本事業は、全国の大学等の高等教育機関に対し、練習船勢水丸の共同利用の機会を積極的に提供すると共に、拠点対象水域における環境教育・食文化教育プログラムを形成・提供する取り組みを行っています。

そのために、「食文化教育・実習プログラム業務支援」、「広報活動」を目的とした勢水丸教育関係共同利用拠点支援室を設置し、練習船拠点事業の効果的な支援を行っています。

支援室の取り組みをより推し進めることで、新たな共同利用校及び利用学生の開拓、教育・実習プログラムの開発とそのクオリティーの向上、共同利用拠点を形成することを目指しています。

◎ 拠点支援体制の構築と推進 ◎



独立行政法人 科学技術振興機構

平成23～28年度

戦略的創造研究推進事業(CREST)

「藻類・水圏微生物の機能解明と制御によるバイオエネルギー創成のための基盤技術の創出」領域—藻類完全利用のための生物工学技術の集約—

三重大大学チーム「有用フィトケミカル活用のための大型褐藻類対応プラットフォーム技術の開発」

本研究領域は、藻類・水圏微生物を利用したバイオエネルギー生産のための基盤技術創出を目的とします。藻類・水圏微生物には、高い脂質・糖類蓄積能力や多様な炭化水素の生産能力、高い増殖能力を持つものがあることに着目し、これらのポテンシャルを活かした、バイオエネルギー創成のための革新的な基盤技術の創出を目指します。

三重大大学チームでは、糖質分解酵素を用いて抽出した大型海藻類の抽出液に含まれるフィトケミカルを同定し、それらが持つ多彩な生理機能の評価や新奇化合物の構造解析に取り組みます。また、褐藻類の分解に必要な酵素とその遺伝子情報を、嫌気性細菌と海洋性細菌から探索し、海藻抽出液から有用フィトケミカルを効率よく生産する技術開発も行います。

◎ 三重大大学チームの研究構想 ◎



•15

Information

気になるNEWS



1月

東北楽天ゴールデンイーグルス
星野仙一監督より寄附金贈呈

地域医療をはじめ研究活動の発展を願い、以前より親交の深い津市内病院理事長を通じて、本学振興基金へ100万円が贈呈されました。



勢水丸教育共同利用拠点強化事業
シンポジウム

共同利用拠点強化事業の一環として基調講演や加工業者による講演、試食会が行われ、学生、教職員、一般170名を超える参加者に大好評でした。



21日・22日

DMAT中部ブロック(災害派遣医療チーム)
実働訓練を三重大で実施

三重県中部を震源とする地震による大規模災害を想定した訓練が実施され、本学職員で構成される三重DMATとともに学生約50名が参加しました。



31日

女子ハンドボールチーム
「三重バイオレットアイリス」が表敬訪問

創部以来、本学教員が理事やサポータークラブの世話人代表、チームドクターを務めていることから、代表して3名の選手が三重大を訪問しました。



2月

ドクターヘリ運航開始

医学部附属病院と伊勢赤十字病院を基地病院として2ヶ月交代で運航します。短時間での病院搬送により、救命率の向上等が期待されます。



8日・12日

教育学部美術教育コース
「2012卒業制作展」

県立美術館において、美術教育コースの学生が卒業研究として制作した学びの集大成となる作品を毎年展示しており、今年は7名の作品が発表されました。



16日

JICA(国際協力機構)
研修生が来学

「循環型社会形成促進のための廃棄物管理」について日本の技術や教育方法を学ぶため、ベネズエラから8名の研修生が来学しました。



25日

第5回市民公開講座
「知ってほしいがんに対する放射線治療」

標記市民公開講座が三重県総合文化センターにおいて開催されました。参加した約600名は特別講義などを熱心に聴講していました。



4月

入学式



桜満開の晴天は新入生たちの前途を祝しているようでした。

三重テレビ放送第2チャンネルで
三重大のテレビ番組が放送開始

番組「きらめく群像〜三重大の財(たから)〜」は、毎月第4火曜日12:00から生放送されます。是非、ご覧ください!



5月

環境ISO学生委員会による
「自転車譲渡式」

学内の景観美化活動と放置自転車のReuse活動の一環で、修理した放置自転車の無償譲渡が行われました。



15日

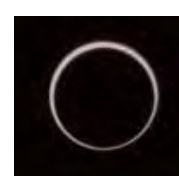
チャリティー駅伝「生命の駅伝」
ランナーにがん研究支援のための
募金を本学から贈呈



21日

金環日食の観測会

ピークになるとあたりが薄暗くなり日食レンズで観測した人々は口々に歓声をあげていました。



附属病院屋上へリポートにて

Information

気になるNEWS

14日

岐阜県立長良高校の2年生が
三重大を見学

進学先として三重大を知りたいことを目的に開催された見学で、2年生359名は生協食堂で昼食を摂ったあと、コース別研修や学内視察を行いました。生徒たちはみな有意義そうでした。



『第35回鳥人間コンテスト選手権大会』に
三重大のサークルが出場します

ものづくりサークル「Pa-Tan!」が出場します。入賞を目指します!



卓球部がインカレ出場権を獲得!



創部以来の快挙です!

三重大Xの撮影担当写真家が
第7回キヤノンカレンダー写真家に
起用されました

本誌の教員特集ページ等の写真撮影を担当している写真家の森武史氏が第7回キヤノンカレンダー写真家に選出されました。数々の写真集の出版や個展の開催など、プロ写真家として活躍しています。





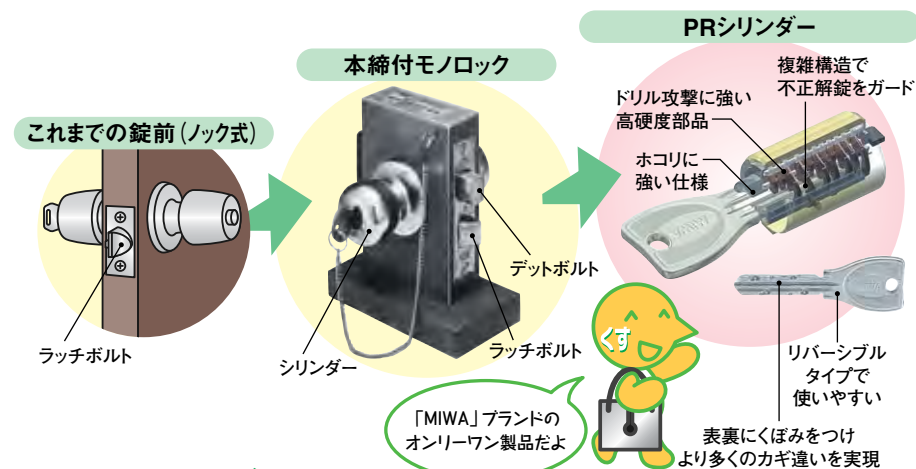
三重県でピカッと輝く
企業を紹介します。

MIWA 美和ロック株式会社

ピカ1 シェア60%! 進化する錠前

あなたの鍵も美和ロック?

お手持ちの鍵をご覧になってみてください。「MIWA」という文字が刻まれていますか?日本の錠前シェア60%を誇っているのが美和ロックです。戦時中、戦火を逃れて東京から気候温暖な三重県に工場を移転した美和ロックは、1955年に初代社長の和氣一郎が発明した**本締付モノロック**が爆発的にヒットし、現在の地位を築きました。そしてこの製法をベースに美和ロックの錠前はさらなる進化・発展を遂げることとなります。



鍵は安心のシンボルマーク

錠前を一つ作るにも開発から設計まで本当に多くの人に関わっていることに驚きました。現在は、防犯に対する人々の意識が高まり、外出するとき鍵をかけて出かけるのは当たり前前時代になりました。協力・誠実・研究、この社是のもと美和ロックは錠前技術を進化させ続けています。美和ロックの高品質で堅牢な錠前に、私達の安全は支えられているんですね。



山名 レポーター

鍵は目立つものではないけれど私たちの生活に欠かせない、縁の下の力持ちのようなものだと思います!

山名 佑佳(三重大学人文学部 文化学科 3年)

SPOT.....

～設立から67年。金型から錠前の最終組立まで自社製作する高い技術力を誇っています。～



- 所在地/本社：東京都港区芝3丁目1番12号
伊勢工場群 玉城工場：三重県度会郡玉城町山神1028番地1
- 代表者/代表取締役社長 和氣英雄
- 事業内容/セキュリティ事業、建築用錠前およびセキュリティシステム関連機器など工業製品用錠前、ドアクローザ、サッシ金具、建築金具など
- 企業理念/高品質な製品をお客様にお届けすることで、安全と安心を提供し、快適な暮らしが送れるように、立派に社会貢献を果たす。

【URL】<http://www.miwa-lock.co.jp/>



実は! こんな工夫がありました!

生活に密着したものだからこそ、美和ロックでは様々な工夫がなされています。暗闇でも鍵穴が簡単にみつかるように光る素材を使用したり、鍵穴がすり鉢の形になっていて、鍵穴に差し込みやすくなっている、など今までなかった便利な工夫がたくさんされています。特に1,000億通りの鍵違いを有する**PRシリンダー**は、先進の機能をそなえた美和ロックの主力製品です。また、最近では鍵のIT化が進み、携帯電話やカード、静脈認証など様々なスタイルにも対応しています。



CLUB CIRCLE.....

カッター部(端艇部)

活動は

毎週月曜日・火曜日・木曜日 18:00～

毎週土曜日 9:00～

活動場所/津ヨットハーバー



こんにちは、カッター部です!カッターといっても切るほうではないです(笑)カッターとは手漕ぎの船のことで、艇指揮、艇長、漕手がカッターに乗り込みオールを使って漕ぎ、スピードを競い合うマリンスポーツです。映画「タイタニック」の終盤で出てくる救助艇を想像してもらえればわかりやすいと思います。

カッターは珍しいスポーツなので部員はほぼ大学から始めた人ばかりですが、現在部員数は男子16人、女子10人で、大会に向けて楽しく、真剣に取り組んでいます。

練習場所は津のヨットハーバーです。実際に漕いでみるとカッターの魅力はわかりやすいですよ!!



ウォーミングアップも欠かせません!



代表 吉岡 勇徳
(工学部機械工学科 3年)

【URL】<http://miedaitantei.web.fc2.com/index.html>

クラブ・サークル

E.S.S (English Speaking Society)

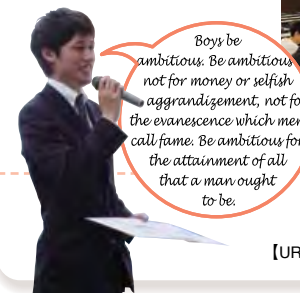
活動は

毎週火曜日・金曜日 18:00～20:00

活動場所/共通教育棟3号館2階



英語を使って、海外の人とコミュニケーションをとりたい!海外に留学して勉強したい!英語の力を伸ばしたい!ESSは英語に興味を持った人たちが集まる英語サークルです。部員数は現在40人ほどで、より個人個人の求める力を養うために、スピーチ、ディベート、コミュニケーション、ディスカッションの4つのセクションに分かれて活動しています。自分がどのセクションに一番合っているかを慎重に選び、4年間そのセクションで活動します。このセクション活動で身につけた力を実生活に活かすことが私たちのサークルの理念でもあります。また、サークル内で英語力を向上させるために、毎年スピーチコンテストが開催され、それに向けた練習も行われています。英語を活かして海外旅行に行けば、とても充実したのになりますよ!



Boys be ambitious. Be ambitious not for money or selfish aggrandisement, not for the evanescence which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.



代表 柴田 隆豊
(生物資源学部生物園生命科学科 3年)

【URL】<http://muesshp.web.fc2.com/activity.html>

本の紹介



『秀吉と海賊大名-海から見た戦国終焉-』

信長・秀吉・家康が天下統一をめざした時、鍵となったのが瀬戸内海である。彼らがめざした「革命」は、村上氏・来島氏ら海賊衆と彼らを束ねた河野氏・毛利氏ら海賊大名をいかに翻弄したのか。小著は、海から見た戦国終焉の物語である。

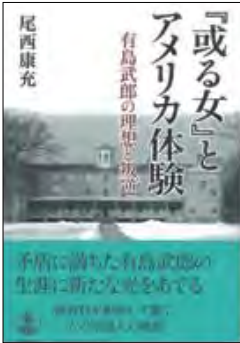
単著／藤田達生(教育学部・教授)
定価／760円(税別)
発行／中公新書
ISBN／978-4-12-102146-5



『英国風景の変貌-恐怖の森から美の風景へ-』

ピーターラビットで有名な湖水地方、イギリスの典型的な田園のコッツウォルズなど、イギリスには多くの美しい風景が存在します。これらの風景は長く恐ろしいとか無価値で野蛮だと考えられていました。どのようにこれらが美しい風景になったか考えます。

単著／森 正人(人文学部・准教授)
定価／2,500円(税別)
発行／里文出版
ISBN／978-4-89806-388-0



『「或る女」とアメリカ体験 有島武郎の理想と叛逆』

有島武郎の代表作のひとつ「或る女」をはじめ、有島文学にはアメリカ留学体験が色濃く影響を残している。現地調査で有島の生活と思考の推移を丹念に追跡した著者が、新資料を活用しながら、〈キリスト教〉〈社会主義〉〈植民地主義〉〈移民〉〈ジェンダー〉などの問題意識を、現代的な視点から考察する野心的な試み。

単著／尾西康充(人文学部・教授)
定価／3,700円(税別)
発行／岩波書店
ISBN／978-4-00-022069-9



『院長の部屋から』

小生が附属病院のホームページに毎月連載した随想集です。四季折々を彩る草花を中心として繰り広げられる様々な話題や病院での出来事を、写真や水彩イラストとともにわかりやすく綴りました。

単著／竹田 寛(医学部附属病院長)
(イラスト：竹田恭子)
定価／1,200円(税別)
発行／三重大学出版会
ISBN／978-4-903866-14-7



『歴史発見!ロンドン案内』

2012年7月に開幕するロンドンオリンピックは世界中の注目を集めます。このロンドンがどのような歴史を経験してきたのか、現在に残る建築物、文学作品、紅茶文化、娯楽施設などを窓口にして紹介します。

単著／森 正人(人文学部・准教授)
定価／880円(税別)
発行／洋泉社
ISBN／978-4-86248-911-1



『峠を越えて-環境・エネルギー・農林業問題を考える-』

共著／船岡正光(生物資源学部・教授)
定価／1,500円(税別)
発行／NPO法人 環境・エネルギー・農林業ネットワーク



『四日市公害の過去・現在・未来を問う』

編著／朴恵淑(理事・副学長/人文学部・教授)
白石友行(人文学部・准教授)
宮岡邦任(教育学部・教授)
谷口智雅(人文学部・特任准教授)
加藤忠哉(工学部・名誉教授)
奥山哲也(環境管理推進センターアドバイザー)
丸山直樹(工学部・准教授)
寺島貴根(工学部・准教授)
水木千春(国際交流センター・国際交流コーディネーター)

定価／2,800円(税別)
発行／風媒社
ISBN／978-4-8331-1097-6



『リーラー「遊」vol.7 浄土真宗の七五〇年』

共著／赤岩 隆(人文学部・教授)
定価／1,400円(税別)
発行／文理閣
ISBN／978-4-89259-668-1



『神経難病在宅療養ハンドブック』

編著／成田有吾(医学部・教授)
定価／1,200円(税別)
発行／メディカルレビュー社
ISBN／978-4-7792-0708-2



『島へ、岸边へ』

単著／川口祐二(附属図書館研究開発室客員教授)
定価／2,300円(税別)
発行／ドメス出版
ISBN／978-4-8107-0766-3

教員表彰

第14回秩父宮記念スポーツ医・科学賞 奨励賞 (2012.3.28)

教育学部
教授 杉田正明



非暴力国際平和賞 (2012.6.16)

人文学部
教授 児玉克哉(広報担当副学長)



受賞者	受賞名(受賞日)
医学部附属病院 乳腺センター 教授 小川朋子	第6回「乳癌の臨床」賞 優秀賞 (2012.1.26)
医学部附属病院 呼吸器内科 講師 小林 哲	第84回閉塞性肺疾患研究会 優秀演題賞 (2012.1.28)
生物資源学部 教授 古丸 明	日本水産学会 水産学進歩賞 (2012.3.28)
生物資源学部 准教授 諏訪部圭太	日本育種学会 奨励賞 (2012.3.29)
生物資源学部 准教授 淀 太我	水産増殖学会 奨励賞 (2012.3.29)
生物資源学部 教授 船岡正光 他1名	電気化学会 学会賞 論文賞 (2012.3.30)
医学系研究科 医学教育・看護学教育センター 助教 玉利健悟 他4名	第89回日本生理学会大会 ポスター賞 (2012.3.30)
三重大大学医学部 消化器内科学 講師 藤田尚己	H23年度 Liver Forum in Kyoto 研究奨励賞 (2012.3.31)
生物資源学部 教授 山田 孝	平成24年度砂防学会賞 論文賞 (2012.5.23)

学生表彰

平成23年 電子デバイス研究会 論文発表奨励賞 (2011.11.25)

応用物理学会結晶工学分科会 発表奨励賞 (2011.12.15)

工学研究科(博)3年 宮川鈴衣奈
(平松和政 教授)



International Symposium on Artificial Life and Robotics (AROB) Student Paper Award (2012.01.21)

生物資源学研究科(修)1年 高氏龍之介
(陳山 鵬 教授)



日本産業技術教育学会 第六回発明・工夫作品コンテスト 奨励賞 (2012.01.27)

教育学研究科(修)2年 甲斐麻純
教育学研究科(修)1年 古市裕太



特別賞 (2012.1.27)

教育学部4年 小川祐一 (松岡 守 教授)

日本トライボロジー学会 学生奨励賞 (2012.5.15)

工学研究科(修)2年 久保祥子
(中村裕一 准教授)



※()内は指導教員
学年は受賞当時

平成24年 春の叙勲受章者

瑞宝単光章(看護業務功労)

元三重大大学医学部附属病院看護部長
飯田愛子

環境報告書賞

第15回環境報告書賞 公共部門賞

カーボンフリー大学などの環境保全への大学の姿勢が明確であることなどが高く評価され、環境報告書2011が標記賞を受賞しました。



夏季休業

三重大学における 夏季一斉休業について

三重大学（医学部附属病院を除く）では、平成24年8月13日（月）～15日（水）を一斉休業させていただきます。
ご理解の程よろしく申し上げます。



附属学校園から

附属幼稚園

■平成25年度入園希望の方へ

■平成25年度園児募集 募集要項等の交付期間

◎日 時◎ 平成24年9月3日（月）～9月14日（金）※土日を除く
9:00～12:00、13:00～15:00

■願書受付期間

◎日 時◎ 平成24年10月1日（月）～10月12日（金）※土日、祝日を除く
9:00～12:00、13:00～15:00

■入園のための説明会

◎日 時◎ 平成24年9月20日（木）
14:00～15:00

■選考面接

◎日 時◎ 平成24年10月25日（木）、26日（金）

※詳細については、お問い合わせください。 ☎059-227-1711

■緑いっぱいの園庭で遊びませんか？

園庭を開放しています。

◎日 時◎ 毎週月曜日と木曜日 13:00～16:30

（10月から月曜日は14:30からになります。）

◎その他◎ 事務室受付で名前を記入してから遊んでください。
トイレは管理棟、昇降口の所をご利用ください。
ゴミはお持ち帰りください。
使った玩具等は必ず片づけてください。

附属小学校

■平成25年度入学希望の方へ

■選考日時

第1次選考

◎日 時◎ 平成24年11月23日（金）

第2次選考

◎日 時◎ 平成24年11月27日（火）

■願書交付期間

◎日 時◎ 平成24年9月24日（月）～10月12日（金）※土日、祝日を除く
9:00～12:00、13:00～16:00

■出願期間

◎日 時◎ 平成24年10月16日（火）～10月31日（水）※土日を除く
9:00～12:00、13:00～16:00

■学校説明会

◎日 時◎ 平成24年10月12日（金）14:00～15:30

◎会 場◎ 附属小学校体育館

※詳細については、お問い合わせください。 ☎059-227-1295

市民開放授業

■平成24年度後期三重大学市民開放授業

受講生募集のお知らせ

三重大学では、本学が開講している正規の授業を市民等の皆様に学生とともに受講していただく三重大学市民開放授業を開設しております。募集要項や申込方法等詳しくはこちらをご覧ください。

URL <http://www.mie-u.ac.jp/neighborhood/extension.html>

◎開放授業科目◎

●人文学部 ……………ドイツの言語B、自然環境論B、日本考古学特講F

●教育学部 ……………現代社会の課題と国民的教養、
教育社会学、教育社会学演習、教育と福祉

●工学部 ……………電磁気学II及び演習、量子力学I

●生物資源学部 ……景觀設計論、森林微生物機能学、環境経済学、植物病害制御学、
微生物利用学、流域保全学、食料生産システム学、生物機能化学

●国際交流センター…初級:生活日本語2B（Everyday Japanese2B）、
中級I:文法・読解B（Grammar and Reading B）

●共通教育センター…東洋史II、比較政治文化、ドイツ語II講読、
建築・技術・人間一防災論、ドイツ語I基礎（後）、
英語IVTOEIC上級、地域研究:ベトナムB、ドイツ語I演習（後）、
英語IIITOEIC中級、ドイツ語I演習（後）、ドイツ語II演習

◎開催日◎ 2012年後期の講義期間

◎募集定員◎ 1科目2人～上限なし（授業科目により異なります。）

◎受講料◎ 1科目9,400円（一部の科目13,500円）

◎受講資格◎ ありません。

ただし、受講条件や授業の概要を確認し、お申し込みください。

◎受講申込受付期間◎ 平成24年9月3日（月）～9月10日（月）

◎問い合わせ先◎ 三重大学学務部教務チーム／☎059-231-5520
または、三重大学各学部学務担当等（募集要項参照）

◎その他◎ 平成25年度前期三重大学市民開放授業の開放授業科目、
募集定員、受講申込受付期間等については、平成25年2月下旬頃、
本学のホームページ等によりお知らせしますので、受講を希望される方は
ご応募くださるようお願いいたします。

■生物資源学部特別支援プログラム

受講生募集のお知らせ

農学関連特別プログラム・森林関連特別プログラム・水産関連特別プログラムを開講しています。募集要項や申込方法等詳しくはこちらをご覧ください。

URL <http://www.bio.mie-u.ac.jp/pdf/tokubetu2012.pdf>

◎開放授業科目◎

●森林関連特別プログラム…樹木生理学、森林・緑環境評価学、森林航測学、
（後期コース） 治水砂防学、森林・緑環境計画学、森林資源生物学実験

●農学関連特別プログラム…植物遺伝育種学、野菜環境生理学、食作物学、昆虫学、
（後期コース） 植物病原微生物学、生理生態機能調節実習および生物
資源有効利用実習（後期コース）

●水産関連特別プログラム…海事概論、水産食品衛生学、海洋個体群動態学、
（後期コース） 水族増殖生態学、資源生物学、海洋動物学実験

◎開催日◎ 2012年後期の講義期間

◎募集定員◎ 各プログラム若干名

◎受講料◎ 検定料：9,800円

入学料：28,200円

授業料：後期コース56,400円

◎受講資格◎ 学校教育法第90条第1項の規程により大学に入学することができる者で、
教授会が当該プログラムを履修するに十分な学力があると認めた者。

◎受講申込受付期間◎ 平成24年7月23日（月）～7月27日（金）

◎問い合わせ先◎ 生物資源学研究科チーム学務担当／☎059-231-9631

公開講座・シンポジウムなど

■第25回壬申の乱ウォーク

◎講師◎ 山中 章（人文学部・特任教授）

◎日時◎ 平成24年9月15日（土）8:00近鉄四日市駅前集合

◎会場◎ 大津市勢多唐橋周辺

◎受講料・定員◎ バス代4,000円（拝観料等を含む）・100名

◎受講対象者◎ 市民一般

◎申込方法◎ 電話

◎申込期間◎ 8月下旬～9月上旬

◎申込み・問い合わせ先◎ 久留信遺跡を考える会・前川／☎059-364-0395

■附属病院市民公開講座

◎申込み・問い合わせ先◎ 三重大学医学部附属病院がんセンター／☎059-231-5055

■市民公開講座in志摩 安心できるがん医療

◎日時◎ 平成24年12月22日（土）10:30～15:30

◎会場◎ 阿児アリーナ

◎受講料・定員◎ 無料・500名（事前申込）

◎受講対象者◎ 市民一般

◎申込期間◎ 平成24年11月1日（木）～11月30日（金）

■第6回市民公開講座 緩和ケアについて（仮）

◎日時◎ 平成25年3月2日（土）13:00～16:00（予定）

◎会場◎ 三重県総合文化センター 中ホール

◎受講料・定員◎ 無料・950名（事前申込）

◎受講対象者◎ 市民一般

◎申込期間◎ 平成25年1月15日（火）～2月15日（金）

■第15回「リフレッシュ理科教室」東海支部三重会場

◎日時◎ 平成24年8月25日（土）10:00～16:50

◎会場◎ 三重大学講堂小ホール

◎受講料・定員◎ 無料・180名（午前1テーマ 各60名、午後2テーマ 各60名）

◎受講対象者◎ 小学3年生～中学生

◎申込方法◎ 往復はがきまたはメール

◎申込期間◎ 平成24年7月1日（日）～8月1日（水）

◎申込み・問い合わせ先◎ 藤原裕司（工学部・准教授）／☎059-231-9406

E-mail：refresh@ne.phen.mie-u.ac.jp

三重大学工学研究科物理工学専攻リフレッシュ理科担当

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

URL <http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/2012/06/post-44.html>

QRコード

携帯電話でもご覧になれます。

■青少年のための科学の祭典2012 三重大学大会

◎日時◎ 平成24年11月10日（土）、11日（日）／1日目13:00～17:00 2日目10:00～16:00

◎出展者◎ 大学教員、大学生、科学ボランティア、小中学校教員、企業他

◎会場◎ 三重大学講堂

◎受講料・定員◎ 無料・自由参加

◎受講対象者◎ 児童、保護者、市民一般

◎問い合わせ先◎ 教育学部理科教育／☎059-231-9260または090-6616-9260

URL <http://sci.edu.mie-u.ac.jp>

■？「発見塾」

◎受講料◎ 無料

◎受講対象者◎ 市民一般

◎問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館／☎059-231-9032

URL <http://www.lib.mie-u.ac.jp>

■脳卒中:なぜ発症するのか？

◎講師◎ 滝 和郎（理事・副学長）

◎日時◎ 平成24年7月28日（土）13:30～15:00

◎会場◎ 津市河芸公民館第1会議室

■脳卒中:なぜ発症するのか？

◎講師◎ 滝 和郎（理事・副学長）

◎日時◎ 平成24年9月29日（土）13:30～15:00

◎会場◎ 津市美里文化ホール

■おいしい魚・珍しい魚・奇妙な魚―熊野灘の魚紳士録―

◎講師◎ 木村清志（生物資源学部・教授／生物資源学部水産実験所所長）

◎日時◎ 平成24年11月17日（土）13:30～15:00

◎会場◎ リージョンプラザ2階 津健康教室

■みんなでつくる津のまちづくり

◎講師◎ 松浦健治郎（工学部・助教）

◎日時◎ 平成25年1月26日（土）13:30～15:00

◎会場◎ リージョンプラザ2階 津健康教室

■超高齢化社会が求める福祉ロボットの現状と課題

◎講師◎ 矢野賢一（工学部・教授）

◎日時◎ 平成25年3月16日（土）13:30～15:00

◎会場◎ リージョンプラザ2階 津健康教室

■人文学部 伊賀市生涯学習センター

「育み、喜び、感じる 伊賀再発見」

◎会場◎ ハイトピア伊賀 5階 生涯学習センター 多目的大研修室

◎受講料・定員◎ 無料・自由参加

◎受講対象者◎ 市民一般

◎問い合わせ先◎ 三重大学人文学部／☎059-231-9194

■地図で読み解く城下町

◎講師◎ 安食和宏（人文学部・教授）

◎日時◎ 平成24年7月28日（土）14:00～15:30

■自治基本条例から見た伊賀

◎講師◎ 岩崎恭彦（人文学部・准教授）

◎日時◎ 平成24年8月4日（土）14:00～15:30

■企業経営から見た町づくり

◎講師◎ 青木雅生（人文学部・准教授）

◎日時◎ 平成24年9月15日（土）14:00～15:30

■人文学部「公開ゼミ」

◎会場◎ 三重大学人文学部

◎受講料・定員◎ 無料・各20名

◎受講対象者◎ 市民一般

◎申込方法◎ 電話、FAX、メール

◎申込期間◎ 8月1日（水）～各講座日の5日前まで（定員まで先着順に受け付けます。）

◎申込み・問い合わせ先◎ 人文学部チーム総務担当

☎059-231-9196、059-231-9195／FAX 059-231-9198

E-mail：hum-somu@ab.mie-u.ac.jp

URL <http://www.human.mie-u.ac.jp/chiiki/kouza/>

①アガサ・クリスティの自伝を読む

◎講師◎ 赤岩 隆（人文学部・教授）

◎日時◎ 平成24年9月11日（火）、18日（火）、25日（火）10:30～12:00

②アメリカ短編小説3篇

◎講師◎ 野田 明（人文学部・教授）

◎日時◎ 平成24年9月19日（水）、26日（水）、10月3日（水）10:30～12:00

③男女共同参画とジェンダーを考える

◎講師◎ 小川眞里子（人文学部・特任教授）、

鈴木雅子（三重大学学長アドバイザー）

◎日時◎ 平成24年9月26日（水）、10月3日（水）、10日（水）18:00～19:30

④地震考古学事始め

◎講師◎ 山中 章（人文学部・特任教授）

◎日時◎ 平成24年9月29日（土）、10月6日（土）、20日（土）10:30～12:00

⑤はじめての言語学—ことばの不思議を考える—

◎講師◎ 吉田悦子（人文学部・教授）、澤田 治（人文学部・准教授）、小畑美貴（人文学部・准教授）

◎日時◎ 平成24年10月16日（火）、23日（火）、30日（火）10:30～12:00

⑥高リスク社会における中小企業の未来

◎講師◎ 青木雅生（人文学部・准教授）、後藤 基（人文学部・教授）

◎日時◎ 平成24年10月17日（水）、24日（水）、31日（水）19:00～20:30

⑦大規模災害の際の地方自治体の役割

◎講師◎ 前田定孝（人文学部・准教授）

◎日時◎ 平成24年11月5日（月）、26日（月）、12月3日（月）18:30～20:00

⑧贈与と交換について

◎講師◎ 立川陽仁（人文学部・准教授）、石井眞夫（人文学部・教授）、金子正徳（人文学部・非常勤講師）

◎日時◎ 平成24年11月6日（火）、13日（火）、20日（火）19:00～20:30

⑨志摩の海女の歴史と文化

◎講師◎ 塚本 明（人文学部・教授）

◎日時◎ 平成24年11月14日（水）、21日（水）、28日（水）8:50～10:20

⑩文学から映画へ

◎講師◎ 大河内朋子（人文学部・教授）

◎日時◎ 平成24年11月16日（金）、30日（金）、12月14日（金）18:00～19:30

⑪英文法を科学する!?

◎講師◎ 杉崎鉦司（人文学部・教授）

◎日時◎ 平成24年12月3日（月）、10日（月）、17日（月）10:30～12:00

■医学部「公開講座」

◎日時◎ 平成24年10月14日（日）13:00～17:00（予定）

◎会場◎ 三重大大学医学部先端医科学教育研究棟2階基礎第1講義室

◎受講料・定員◎ 無料・100名

◎受講対象者◎ 市民一般

◎申込期間◎ 平成24年9月10日（月）～9月24日（月）

◎申込方法◎ 受講申込書（郵送、FAX、メール）＊電話による申込は受付いたしません

◎問い合わせ先◎ 医学系研究科チーム総務グループ／☎059-231-6037

詳しくはこちらをご覧ください→ URL <http://www.medic.mie-u.ac.jp>
＊「イベント情報」の中の「市民公開講座」に掲載予定です。（8月下旬頃）

①ミャンマーでの脊椎手術支援

◎講師◎ 笠井裕一（大学院医学系研究科・教授）

②認知症の薬物、非薬物療法

◎講師◎ 佐藤正之（大学院医学系研究科・准教授）

③超高齢社会における防災対策災害看護の視点から

◎講師◎ 磯和勅子（医学部看護学科・教授）

■生物資源学部「公開講座」

親子（孫）で120%科学を楽しむ仮説実験講座「キミも結晶するう？」

◎講師◎ 木村妙子（生物資源学部・准教授）

◎日時◎ 平成24年8月11日（土）、12日（日）の2日間 10:00～15:00

◎会場◎ 三重大大学生物資源学部大講義室

◎受講料・定員◎ 1家族3,000円、実験セット2,000円（最低1セット）・60名

◎受講対象者◎ 小学生以上（小学生は保護者同伴）

◎申込期間◎ 平成24年7月2日（月）～7月20日（金）

◎問い合わせ先◎ 生物資源学研究科チーム総務担当／☎059-231-9673

詳しくはこちらをご覧ください→ URL <http://www.bio.mie-u.ac.jp>
＊「催しもの」の中の「公開講座」に掲載しています。

お願い

三重大大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業 ◎学生の修学環境整備事業

◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業

◎地域貢献支援事業 ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください（FAX・E-mailでもOKです）。

ご郵送先・お問い合わせ先

三重大大学振興基金事務局
【企画総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kiko@ab.mie-u.ac.jp
URL: <http://www.mie-u.ac.jp/fund/>

メールマガジンのご案内

三重大大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています（発行：毎月末）。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、“三重大”に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしております。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生（保護者）」 ②お住いの都道府県
koho@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

アンケートに答えて…

三重大大学オリジナル“えっくすくんわくわくシャーペン”をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。（先着100名）
＊なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわくわくシャーペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



◀大石不動院の展望台から櫛田川を望む



▼辻原町の道標



▶新町の道標



▶参宮街道との分岐点

紀伊半島のほぼ中央部を横断して松阪と和歌山を結ぶ街道で、元和五年（一六一九）に徳川頼宣が和歌山に入封し、伊勢国にも藩領が置かれると一段と重要な街道となりました。ちなみに、万治三年（一六六〇）の参勤交代では、本街道を通じて松坂城に入り、大口浦から三河吉田に伊勢湾を渡っています〔南紀徳川史〕。現在の松阪市日野町に「左さんぐう道」「右わかや道」と刻まれた道標があり、こゝが本街道の起点です。そして、街道は南西方向に進み、新町にも「左くまのみち」「右和か山みち」という道標が立っています。また、山間部に差し掛かる大河内町には丹生大師（多気町）への道を案内する道標二基があり、辻原町には多気（津市美杉町）との分岐を示す道標が見られます。この道標は正面上部に大日如来を配し、「左紀州道」と彫られています。そして、七曲や鳥羽見峠を越えた小片野町には「右山田六里」と、伊勢本街道と分岐をあらわす道標地蔵が確認できます。このように道標が多く残っており、本街道が各地に向かう幹線道路であったことを物語っています。

さらに、櫛田川に沿って街道を西に進むと、大石不動院が右手に見えます。天然記念物のムカデラン群生地や不動の滝などもあり、展望台から見ると櫛田川の景観は素晴らしいものです。また、その数百メートル手前のバスターミナルは、かつての松阪電気鉄道（松電）終点の面影を残しています。

三重大大学附属図書館 研究開発室客員教授

吉村 利男



▲大石不動院



▲松電終点跡地



三重大大学 企画総務部総務チーム 広報室

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL 059-231-9789／FAX 059-231-9000

ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>

E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

＊ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.28

平成24年7月15日発行

●発行／三重大大学広報委員会

●編集／三重大大学広報室

●印刷／有限会社アートピア artopia@ztv.ne.jp

◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

和歌山街道 松阪く大石不動院

三重大学 オープンキャンパス

MIE UNIVERSITY Open Campus 2012

8.8^{WED}

人文学部

生物資源学部

医学部医学科

医学部看護学科

8.9^{THU}

教育学部

工学部

※内容※ 学部学科等の紹介、入試説明、
体験授業、研究室見学など

「4つの力」で
世界に伸びよう

お問い合わせ先

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

三重大学学務部入試チーム

TEL 059-231-9063 / FAX 059-231-5382

三重大学オープンキャンパス2012

検索

click!

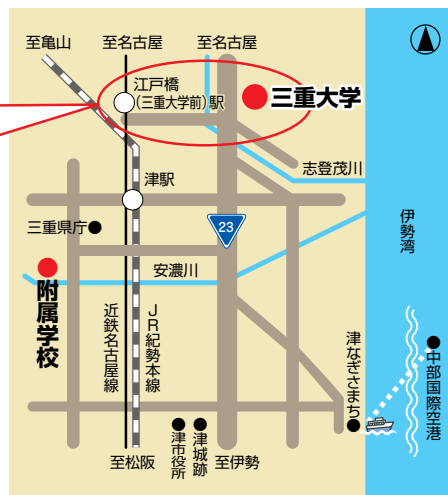
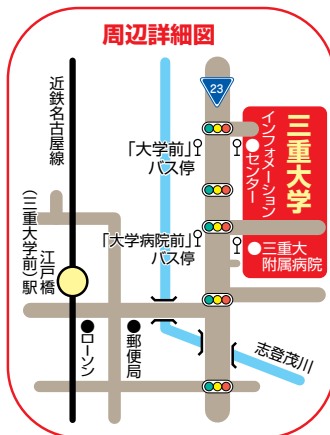


<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>

受験生、保護者の皆様へ

三重県、愛知県などで開催する進学説明会等・相談会においても、本学の様々な情報を提供いたします。
詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。

周辺詳細図



交通のご案内

- 近鉄江戸橋（三重大学前）駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」（06系統）、「太陽の街」（40系統）、「三重病院」（51系統）、「棕本（むくもと）」（52系統）、「豊里ネオポリス」（52系統）、「サイエンスシティ」（52系統）、「三行（みゆき）」（53系統）、「高田高校前」（56系統）行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港（セントレア）から
津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分



三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL 059-232-1211(代)

<http://www.mie-u.ac.jp/>

